

クラス番号	711	担当教員名	寺澤 法弘
テーマ	現代社会における精神保健福祉		
著書・論文 研究課題等	研究課題 精神障害の経験者におけるリカバリー		

## ゼミナール概要

キーワード：精神保健福祉、ソーシャルワーク、リカバリー

### 【目的】

精神保健福祉分野で活動するソーシャルワーカーには、精神疾患を経験しながら幸せな人生を送ることへの支援が求められています。支援の対象は疾患を経験された本人だけではなく、その周囲の家族や環境も支援の対象と考えます。このゼミでは今後、ソーシャルワーカーとして活動するにあたり欠かせないであろう様々な状況（人・機会・場）に関わる力を得ることを目的とします。

### 【学習目標】

ソーシャルワーカーとして活動するにあたり必要とされる最低限の力を身につける事を最大の目標とします。  
1. 他者とかかわりを持つ力 2. 情報を収集し自分の考えをまとめて伝える力 3. 質問と議論する力を得ることを目指します。

### 【方法・計画】（詳細はゼミ生と相談して決めます）

3年次では精神保健福祉に関する様々な体験を通じて、PSWの力を身につけること、卒業論文作成執筆における自身のテーマを得ていくことを目指します。3年次前期ではゼミ生個々による施設見学と事前事後学習をメインとします。夏季休暇中は前期の学びを踏まえて、更に施設見学をゼミ生個々で2ヶ所以上で行います。後期は各自の体験発表の実施、卒論作成に向けて各自が深めたいテーマについての学びをします。

ゼミ生個々の積極的な取り組みを期待しています。研究会への参加、施設見学、家族会への参加、ワークショップ(SST・WRAP)体験、精神科医療機関で開催される行事への企画段階からの参加を通じてゼミ生一人ひとりが役割を担いながら、様々な体験を積むことにより自分の関心のあるテーマを深めていきます。

4年次は個々の卒業論文執筆を中心にゼミを使います。卒業論文については3年次の後期より取りかかり3年次の春休みを有効に使います。国家試験に向けた準備はゼミ生が手分けして主体的に取り組むことを勧めます。

<使用テキスト>ゼミで必要に応じて伝えます。

## 担当教員からのメッセージ



今の私たちの社会では精神疾患を経験することにより様々な困難に出会う事が多くあります。自分の能力を発揮することが難しい状況もあります。一方では「疾患を経験したからこそ体験できる事もある」と精神疾患の経験者は話しています。この言葉からは疾患が全ての原因ではないことが理解できます。疾患の有無に関係なく、なりたい自分になって良いのだと思います。そこに関われるPSWになりたい学生を歓迎します。エントリーシートにはゼミへの志望動機を明確に記載して下さい。

ゼミでは皆さんの積極的な取り組みがなければ進みません。一人ひとりが主体的に行動し全員で協力して取り組むことを期待しています。それがソーシャルワーカーにも必要な力だといえます。